

友枝子供神楽

西友枝体験交流センター
ゆいきららで神楽を披露

4月25日(水)ゆいきららに宿泊した皆さんに友枝子供神楽をみていただきました。この日の演目は今年になってから練習を続けている式神楽の一つ「花神楽」です。花神楽は舞の途中から花吹雪をまいて四方(東西南北)を清めるなど、にぎやかな神楽です。宿泊客の皆さんからは「こんな神楽は初めて見ました」と大好評でした。子どもたちも初披露の演目で緊張した様子でしたが、たくさんの拍手を浴びて笑顔がこぼれていました。



オーイげんき会

昔遊びの伝授

2月15日(水)西吉富小学校1年生を対象に小学校講堂にて昔遊びをしました。子どもたちは、げんき会のメンバーが手作りした紙飛行機、皿廻し、竹ポックリ、竹トンボを使った昔遊びを4班に分かれ、20分ごとに交代しながら全種目を体験しました。大人には懐かしい単純な遊びでも子どもたちには新鮮だったらしく、みんな大喜びで遊んでいました。



お囃子嫩

恒例の春大祭

晴天に恵まれた5月13日(日)、土佐井貴船神社の春大祭が行われました。総代さんをはじめ土佐井の子どもたち、氏子の皆さんの手によって神輿と傘ぼこが牽かれ、私たちは日頃からお稽古しているお囃子を演奏。約3時間のお練りを無事にお勤めすることができました。

生活様式の多様化や少子高齢化による参加者の減少は土佐井地区も例外ではありません。祭りは世代間の交流・理解を深めるよい機会です。もっと地元の人たちとの交流を大切にしませんか。



新たに2団体が地域づくり活動団体に認定

平成24年度地域づくり活動事業公開認定会

5月27日(日)に、「地域づくり活動事業公開認定会」を開催しました。この認定会は、今年度新しく地域づくり活動を始める団体の目標と活動内容が、コミュニティ計画に掲げられた88のプロジェクトに合致するものかどうかを審査するので、今年で5回目の開催となります。

新たに認定を受けようとして手を挙げたのは「唐原子供神楽」「巢狩谷グリーンツーリズム研究会」の2団体。唐原子供神楽は、20～30代の若いメンバーが中心となり、神楽の伝統を子どもたちに継承する取り組みについて、模造紙やパソコンを使ってアピールしました。また、有田地区のご婦人を中心に結成された巢狩谷グリーンツーリズム研究会は、全員おそろいのTシャツ姿で登場し、地域の自然を活かした「都市との交流」を目的とした取り組みについて、写真を使って発表しました。

審査員からは、地域づくり活動を真剣に考えるゆえの厳しい質問やアドバイスが飛び交いました。

全ての発表が終わって、審査員が一堂に会して意見交換を行う「審査会」では、提案された活動の実効性や継続性のほか、5年目を迎える地域づくり活動事業の今後の取り組みについても議論が及びました。

審査の結果、2団体の活動提案が認定され、認定証が交付されました。これから始まる新しい地域づくり活動に、多くの人たちの期待が寄せられています。



2 巢狩谷グリーンツーリズム研究会

●コミュニティ計画「友枝プロジェクトNo.6、19」

代表者 中尾園美さん

会員数 ● 12

☎72-1665

有田の資源を活かした都市との
交流で、地域の活性化を目指します

標高が300mあり、晴れた日はいつでも絶景が望める有田地区には、多くの資源(自然・豊富な農作物・人)があります。これらを活かし、都市から自然との親しみを求めて訪れる方を民泊という形で受け入れ、昔ながらの地域の作法や農作業体験を通して有田の魅力、まちの魅力を全国に発信します。

有田地区では、遊休農地や空き家が増加するなど深刻な問題を抱えています。この活動を通じて、賑わいを起こし、有田地区、上毛町へ移住してもらうことが最大の目標です。



1 唐原子供神楽

●コミュニティ計画「友枝プロジェクトNo.16」

代表者 今西義樹さん

会員数 ● 11

☎090-4359-5458

唐原神楽を次世代に継承し、
発展させ町内外に発信します

100年以上の歴史をもち、先人から受け継がれてきた唐原神楽を子どもたちに継承し、将来の担い手を育てます。また、神楽の盛んな地域からその技を学び、更なる発展を目指します。

老人ホームや町内外でのイベントなど、少しずつ公演の参加も増やし、多くの場所で神楽を披露することで、1人でも多くの方に「唐原子供神楽」を知っていただきたいと思っています。

